

令和4年12月21日

報道機関 各位

新型コロナワクチンの有効性に関する疫学研究について  
～発症予防に対する有効性の暫定結果 第7報～  
新型コロナワクチンのオミクロン株 BA.5 に対する発症予防における有効性について

長崎大学熱帯医学研究所を中心とする疫学研究チーム(VERSUS)は、2021年7月から新型コロナワクチンの有効性を評価する研究を行い、国内で流通している新型コロナワクチンの発症予防における有効性を評価し、これまでに6回にわたって暫定結果を公表してきました。国内では実臨床での新型コロナワクチンの有効性を評価した研究は非常に限られています。

今回は、オミクロン株 BA.5 による感染が全国で拡大した2022年7月から10月に、新型コロナウィルス感染症を疑う症状で研究参加医療機関を受診し、新型コロナウィルスの検査を受けた患者さんの情報を用いて、16歳以上の人における発症予防の有効性について暫定結果をまとめました。その結果、前回の本研究第5報で報告したBA.1・BA.2 流行期の新型コロナワクチンの有効性と比較して、2回接種、3回接種ともにその有効性は点推定値で低下していました。また、第6報で公表していなかった65歳以上の人に対する効果について、3回接種に対して4回接種の有効性が示されました。

※詳細は2022年12月21日15時に以下のホームページで公表します。

URL: <http://www.tm.nagasaki-u.ac.jp/versus/results.html>

なお、今回の第7報は、今週予定されている厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードに出席し報告する予定です。

本研究チームは、変異株や新しい新型コロナワクチンの接種等によって新型コロナワクチンの有効性がどのように変動するかを調査するため、長期サーベイランスを継続しており、今後もアップデートした結果を報告する予定です。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学熱帯医学研究所呼吸器ワクチン疫学分野:前田 遥、森本浩之輔

TEL : 095-819-7842/FAX : 095-819-7843

E-mail : komorimo@nagasaki-u.ac.jp